

笑顔いっぱいのスタッフで
安心して一日をくつろいでいただけます。

新・館・完・成

★広島市内の老人ホームで
初のユニットケア対応設備完備!

★地域交流センター併設

ともに生きる

特別号

2003年7月号
第26号
7月1日発行

発行所
社会福祉法人
寿 老 園
老人ホーム
広島市東区山根町38-23
発行責任者 武村 浩司
電 話 (082)263-3841
1999年(平成11年)4月1日創刊



理事長挨拶



寿老園理事長
武村 浩司

平成15年度もすでに
3ヶ月が経過してまいり
ました。皆様におかれま
してはお変わりございま
せんでしょうか。

昨春秋より進めてまい
りました寿老園(介護老

人福祉施設)の施設整備と地域交流センターがにおかけ
をもちまして、このたび完成の運びとなりました。工事
期間中には近隣の皆様方を始め、地域の方々には多大
なご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

今回の整備で当園は介護老人福祉施設34床増設(内
10床は個室ユニット対応型)でベッド数も84床となりま
した。その他にも新館には地域交流センターを設置し、
付帯設備として防災センター、厨房オール電化なども
整備致しました。

初代理事長が、戦後の社会情勢の厳しい変貌に対して、
寄る辺少ないお年寄りの生活援護のため「共に生きる」
を理念に掲げ、幾多の荒波を乗り越えて今日を迎えて
参りました。また今年の5月10日は当園にとって創立
50周年という大きな節目の日であり、この創立50周年
が当園にとりまして施設整備の大きな記念事業とな
りました。これも一重に皆様方のご理解とご協力があつ
たから出来た事であると深く感謝しております。

この度の事に関して大きな記念式典は行いませんが、
この一年間施設内でとりおこなう行事を50周年の感謝
の気持ちを込め、各種イベントを組み入れていきたいと
思っています。

地域の皆様には、その都度ご案内申し上げますので
是非ご参加下さいますよう、お願い致します。

地域社会は日々大きく変化しています。時代に対応
した老人福祉の方向性を慎重に見つめ、皆様からご期
待頂ける施設として職員一丸となつて取り組んで行き
たいと思っております。

これからもどうぞよろしくお願い致します。

3F

3階は居室が4つあり一部屋に4名づつ、合計16名が生活できます。
この階は、他の階と異なり、談話室が独立しているところが大きな特徴です。

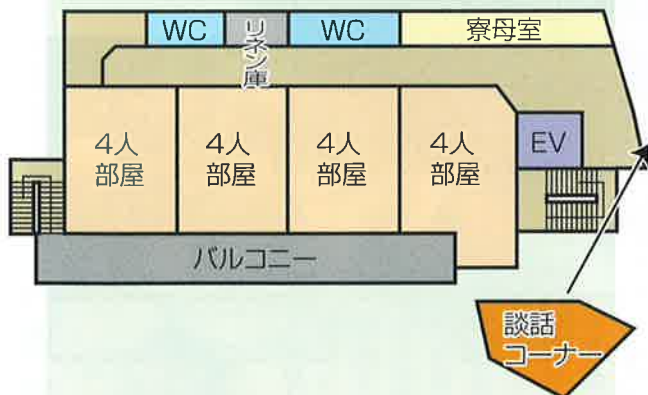
4人部屋と
バルコニー



4人部屋

4人部屋ではただ座って休んだり、テレビを見たりするだけではなく、時には皆でゲームを楽しむ事もできます。気の合う仲間とゆったりとした時間の中で、まるで家庭でのリビングのような感覚で利用することができます。

各部屋には、洗面所が備え付けになっており、いつでも必要な時に歯を磨いたり、顔を洗ったりと自由に使う事が出来ます。また、居室の扉は開けやすいように片方を持って開くと、反対側の扉も自然に開くようになっており、開閉の音も静かで大きな音がたつことはありません。4人のベッドの間隔が広くとってあり、個人の時間もゆっくり過ごしていただけるような設計になっています。



談話コーナー

新館誌上見学コーナー

2F

食堂とお風呂



食堂

広々とした食堂は木の香りもやさしく落ち着いた雰囲気のある場所です。

1階の電化厨房からトレーメイクワゴンで運ばれる食事はできたての温かさです。旬を大切に温かい物は温かく冷たい物は冷たくが基本です。

目の前の配膳室で体調に応じた食事や刻み食や嚥下食など、お一人お一人に細かい対応ができるメリットがあります。また、食事の時間が待ちきれないお客さまも自由にくつろぐ姿も見られます。35インチの大画面のプラズマテレビも置かれ好きな時間が過ごせます。

白を基調にした南向きの明るいお風呂はご家庭での入浴と同じようにと個人浴槽を備えています。

のんびりしたい時には大きなお風呂に入ることができます。通気性もよく四季の風の香りを感じていただけるお風呂です。



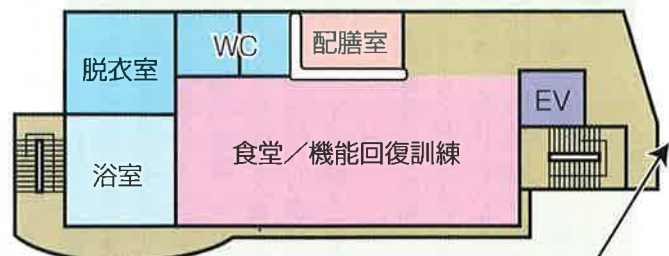
浴槽(ユニット)



渡り廊下部分



トイレ



りっぱな
建物じゃ〜



渡り廊下



個室

- ・時には気の合う人とおしゃべりしたり、
- ・時にはみんなでお茶を飲んだり
- ・時には自分の趣味の時間もあったり

と毎日の生活は自分流に朝起きるのも、お風呂に入る時間も自由、またリビングの窓から市内が一望でき、まるで大パノラマを見ているようです。



トイレ



LDK

食事の後片付けも自分たちで、なごやかな交流の場所でもあります。



浴室

5F

個室とLDK

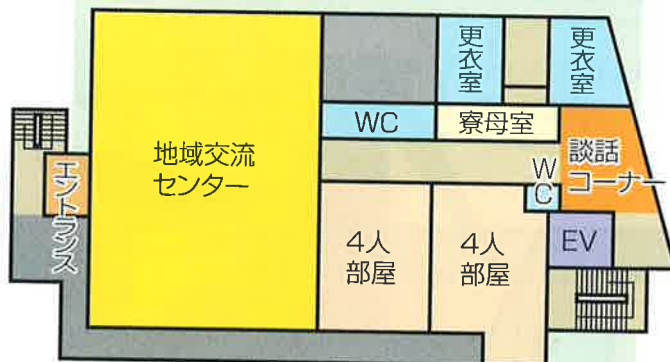
5階には10室の個室が準備されその広さは1部屋約8畳14㎡です。
自分がこれまで長い間使いなじんできた家具や気に入った家具をそのまま使っていただくことも可能です。自分のお部屋や家にいる時と同じようにゆっくり、ゆったりとした時間を過ごしていただけます。



4人部屋



談話コーナー



居室は4人部屋ですが、両側の戸を引けば個室が作れます。ゆったりとした自分の部屋で、自分の時間、家族との時間を持ち、又、クラブ活動に参加したり、時には他の利用者の方と一つのものを作り上げたり。「今日の夕飯、一緒に行かんかね。」と声を掛け合いながら、時には話に花を咲かせ、談話室でお茶をする姿も見受けられます。

個々の生活スタイルを尊重し、生活リズムを大切にしています。



地域交流センター

地域交流センターは園内の行事のみならず、地域の皆様に開放しているスペースです。大型スクリーンを中心としたAV機器を完備しており、サークル活動や、地域の会合、講演会など様々なニーズにお応えできる多目的ホールとなっています。地域と寿老園とを結ぶ「かけはし」としてお気軽にご活用ください。

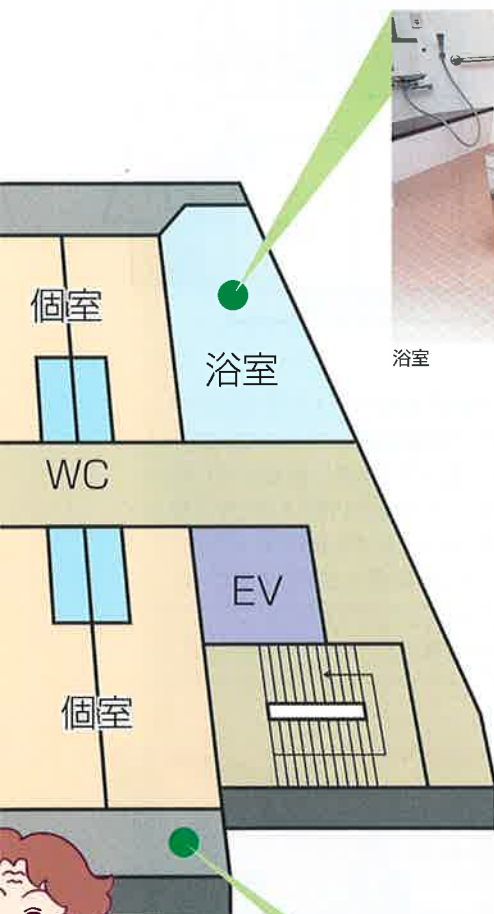
4F

地域交流センターと
談話コーナー

4階は地域交流の場もあり、多くの人々との交流がもてる生活の場です。
利用者の方が主役となり、生活をよりよくする為、「声を聴く」、「心の声を聴く」ことを何よりも大切にし、努力しています。

広島市内初のユニットケア

ユニットケアとは集団的介護ではなく、ご利用者のケアプランに基づいて小グループを組み、ご利用者一人一人のニーズに応じた介護を提供していく事です。今まで、他のみなさんや周りと同じ時間にほとんど同じ事をされていたご利用者が、自分の好きな時間に、好きな事を、自分の意志で選択できるようになります。またスタッフは、ご利用者の気持ちを尊重することで、家庭的な雰囲気を持つ空間の中で介護することができます。館内はご利用者も時間もゆったりとして、スタッフはご利用者の気持ちを大切に限りなく在宅に近い(ご家庭に)寄り添うようなケアが可能になります。



浴室



タイムスケジュール

Aさん

0時	7時	8時	9時	11時 30分	12時	15時	16時	17時	19時	20時	21時	24時
就寝	起床・清掃準備	朝食・片づけ	洗濯・散歩	準備	昼食・片づけ	洗濯	入浴	片づけ・余暇	夕食・片づけ	余暇	着替え	就寝

Bさん

0時	6時	8時	9時	12時	13時	14時	15時	18時	19時	21時	22時	24時
就寝		起床・着替え	朝食・片づけ	居室・読書・テレビ	昼食・片づけ	清掃・余暇	入浴	片づけ・余暇	夕食・片づけ	テレビ	着替え	就寝

Cさん

0時	6時	7時	9時	12時	13時	17時	18時	19時	23時	24時
就寝		起床・清掃	朝食・片づけ 昼食準備	テレビ・音楽	昼食・片づけ	外出・買い物	夕食準備	夕食・片づけ	テレビ・着替え	就寝



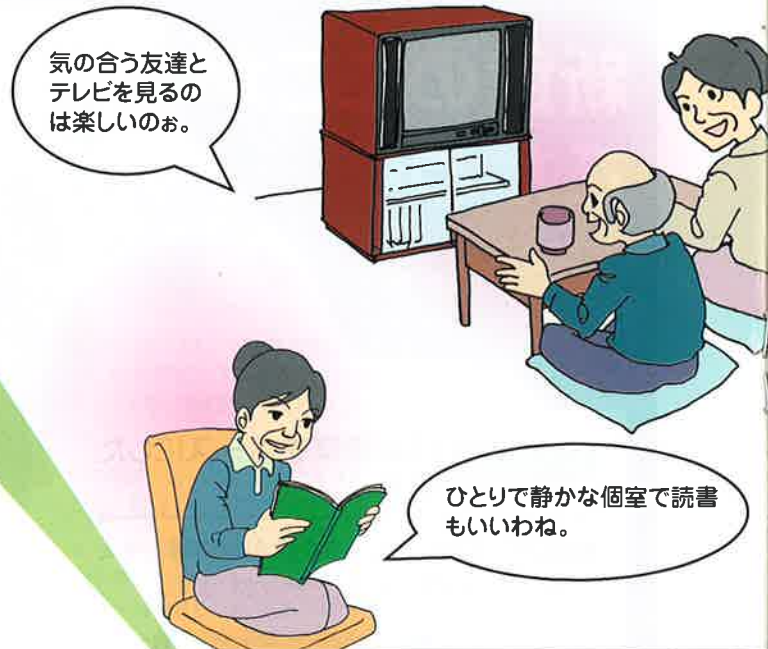
バルコニーから眺める市内の風景は最高にすばらしいです。(晴れたらこんな感じです。)



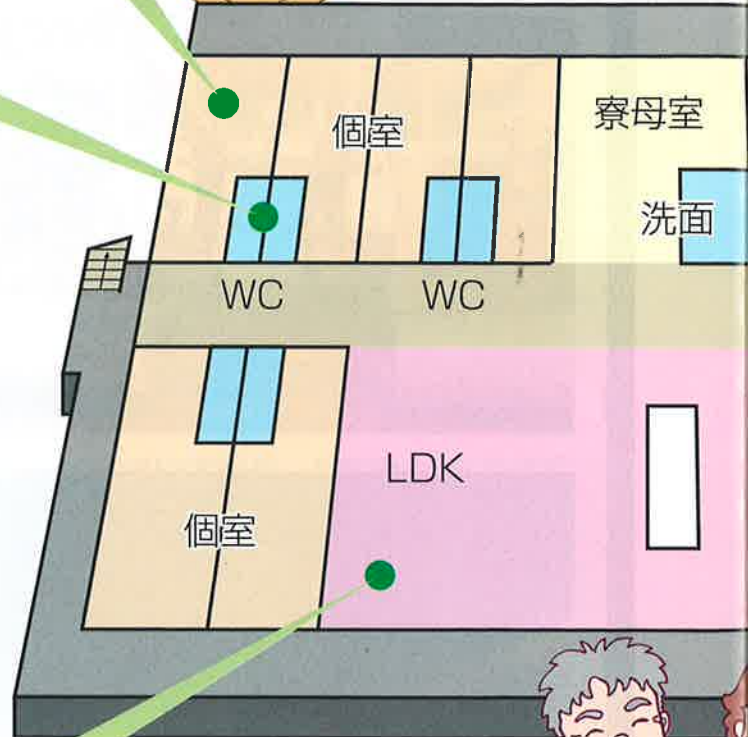
バルコニー



個室



洗面所・トイレ



職員からの一言

家庭的な雰囲気を大切にてご利用者に思い
思いの1日を過ごしていただいています。

スタッフを含め14名の大家族の家として楽し
く過ごしたいと思っています。いつも笑顔が絶え
ずどんなことでも相談し合えるような関係づくりに
取り組んでいます。

ご利用者からの一言

ユニットケアをご利用になったAさんは、担当
スタッフにこういう言葉をかけてくださいました。「今
が人生で一番楽しく充実した毎日で、生活に輝
きを持つ事が出来ました。本当によい所にご縁
が有り、感謝していますよ。」

ご利用者とスタッフがお互いにより身近な存在と
なり、ご利用者のリズムに合わせたお世話、そういう
あたり前の居心地のよい空間での生活が提供でき
ますよう寿老園も努力してまいります。



LDK



新館のここが こだわり

新館のここが大好き!!

こだわり1 日本建築をベースにした デザイン

施設的な雰囲気より大きな我が家で暮らすというイメージの建物に仕上がっています。



こだわり4 屋上からの 眺めがすごい!!

広島市内を一望でき、海や山まできれいに見渡せます。夜は夜景が楽しめ、ウッドデッキからいつまでも景色を眺めていたい気持ちになります。



こだわり2 からだにやさしい建物です。

空気がきれいなところはだれもが好むものです。新館では、換気がよく自然に空気清浄できるような仕組みを取り入れています。例えば壁と天井には珪藻土^{*}を使用しており、全館で500kgの備長炭を置いてマイナスイオンで安らぎを感じられるようにしております。

※珪藻土：珪藻と呼ばれる植物プランクトンの死骸が長い時間かかって化石化して出来た土で、その珪藻の種類によって淡水層、海水層の2種類に分けられます。吸着性に富んでいるため、揮発性有機溶媒（ホルムアルデヒドなど）によるシックハウス症候群を抑える土です。また、吸放湿性のない内装材はダニやカビを発生させるためアレルギーやアトピーの原因となっていますが、これを解決する事ができます。また土であるため壊しても自然の土にかえるため環境に優しいなどたくさんの利点があります。

こだわり3 ステンドグラスをはめています。

新館では、それぞれ別室の中扉に丸くかたどっためのはめ込んでいます。めのはめはその全てが同じものではなく、一つ一つの形や、色に個性のある石です。新館に入られている一人一人の方の個性を尊重し、大きな家族になれるようにという気持ちを表現しています。



こだわり5 地域交流センター

月に一度の居酒屋開催を初め、地域の方もご利用になれます。最新鋭の音響設備でのカラオケや、大きなスクリーンでDVDを使った映画鑑賞会も出来ます。

座 談 会

寿老園の今昔、苦労話などいろいろ話していただきました。

岡原 本日は寿老園が50周年を迎えるにあたって、職員のみなさんにいろいろなお話を聞かせていただきたいと思います。では、さっそく、寿老園の今と昔について聞かせてください。

小島 昔(就職時18年前)は在宅サービスがぜんぜんなかったね。寿老園は他のどの施設よりもいち早く在宅のサービスを開始した施設だったんですよ。

武田 当時はデイサービスや、訪問入浴サービス等次々と始まったのですが、なかなかサービスを利用してくださる方が無く苦労しました。

坂本 あの当時は福祉の車が家の前に来ると、なんとなく恥ずかしいという時代でしたからね。

岡原 18年経って、現在はいかがですか？

武田 今でもそう思われるお客様もいらっしゃいますが、昔ほどではありませんね。介護保険の導入もありましたし、社会全体の「福祉」の受け入れも変わってきています。

小島 福祉の学校も今ではたくさん出来ましたよね。介護の技術も向上して、若い職員もとても増えています。昔は学校で学ぶのではなく、先輩寮母さんの介護をそばで見て、みようみまねで必死になって覚えていました。

岡原 男性が介護する事も昔はめずらしかったのでは？



小島 そうですね。ですから女性のご利用者様(お客様)には男性が介護する事が受け入れにくかったようです。

小野 今はそうでもないですよ、割合受け入れてもらえます。

下村 今は、逆に男性の職員の方が、女性の職員よりもいち

早くご利用者(お客様)様に名前を覚えていただけるんですよ。女性はひとかたまりでしか覚えてもらえないんです。(笑)

小島 介護保険の導入もありましたし、どの部署でも、確かな技術で、ご利用者様(お客様)の満足いく質の高いサービスを提供していきたいですね。

岡原 介護保険という言葉が出てきましたが、実際に導入されたことで福祉の現場で変わった事がありますか？

小島 大きく変わった事は、一人一人のケアプラン(介護計画)を立てるようになった事です。これまでは決められた1日の流れに沿って介護をしていましたが、今はご利用者ひとりひとりの満足性をより重視するようになりました。職員もご利用者様(お客様)の希望に応えられるように努力するようになり、サービスの内容も向上してきています。

下村 それに地域に福祉の関連の施設もたくさん増えてきて、焦りみたいなものを感じるようになりましたね。寿老園にも金屋と山根、2つのデイサービスがあって、私は山根なんですが、金屋のデイ(H14年4月開所)が出来た時、よし絶対負けなぞ!って思いました。

小野 僕は金屋のデイでもしばらく働いていたのですが、当時はやっぱり山根に負けなぞって張り合っていましたね。どちらもご利用くださるお客様が、「山根のデイではこんな事をして楽しかったよ」とおっしゃると、もっと楽しい事をしてやろうって必死で考えていましたから。(笑)でも今ではそれぞれのデイがより独自のサービスを提供していることががんばっていますよね。

武田 お互い相乗作用でサービスが向上しています!？同じ寿老園同士でもこんな状況ですから、より多くのお客様に来ていただくために本当に気が気じゃないですよ。



岡原 以前の福祉の体制からは想像もつかない状況ですね。

坂本 介護の現場でも、頭の切替がとても大切です。以前の常識が今では非常識となっていますね。

岡原 介護方法もすぐ変わってきていますよね。今回寿老園は新しくユニットケア(小グループ)による介護。10名程度の入居者を数人の職員が交代で介護するサービスを導入する事になりましたが、そのことについてはどのように思われていますか？

坂本 今の段階では(H15.4月)どんな方が入所されるのか分からないので、不安と期待でいっぱいです。

小島 ユニットケアを開始する上でたくさんの課題がありますが、私は夢や期待の方が大きいかもしれません。新館の5F部分については個室での対応という今までの寿老園にはなかった介護が始まります。全国でいろいろなユニットケアが実践されていますが、寿老園独自のすばらしいユニットケアをつくっていきたいと思っています。若い職員もどんどん成長していますので、すばらしいケアが出来ると思っています。

岡原 理想とするユニットケアがありますか？

坂本 言葉で表現するのは難しいですが、ユニットケア対応の生活は家庭生活の延長線上にあると考えていただけたらうれしいですね。1ユニットが1家族、そんな生活をしていただけたら、「今日はあれがしたい、これもやりたい」なんていう自発的で積極的な声がたくさん出てくるのではないかと思います。

小野 本当にそうだと思います。主役はご利用者様(お客様)1人1人。私たちはみなさんの生活にすーっと寄り添うような介護を目指したいです。

武田 介護の基本的な部分がしっかり出来ていないと、どこまでお手伝いしたらいいのかの見極めって難しいですよ。細やかな気遣いとか、言葉かけ一つについても本当に難しい。

坂本 寿老園の職員は意欲もあるし、技術も高いと自負していますよ。若い職員の意欲も強くて、新しい古いに関係なく、職員同士がいいライバルです。

下村 私が寿老園に就職したばかりの時に寿老園って、職員も入所されている方もあたたかい施設だなんて思いました。いつまでもそうあって欲しいです。

小島 寿老園の事業は何でも広島市で一番に始まって、立ち上げに苦労しながら今まで頑張ってきてきました。今回のユニットケアの導入も一番で、すばらしいケアをしていきたいと思っていますから、皆さんも応援してくださいね。

坂本 自分が年をとったとき、ぜひぜひ寿老園のユニットケアに入りたいと思うようなものにしていきたいですね。皆さんもそう思いませんか？

一同 思います!!

編集後記

もしかしら開園100年の記念広報誌に入所者兼OB代表で挨拶される職員がいるかもしれませんけれど、その挨拶をするのは誰だろうとそれぞれに想像をめぐらせながら今回の対談は終了しました。もっとも質の高いサービスが提供できるような施設づくりを職員一同目指していきたいと思っています。



写真でたどる寿老園の50年史

—— 寿老園に歴史あり。50年の歴史を写真で振り返ってみました。 ——



昭和33年 梅寮増築
施設創設以来初の国庫補助金による増築事業
定員30名より50名となりました。
昭和33年当時の入所平均年齢 64歳
昭和35年の平均寿命 男65.3歳
女67.7歳



中央に見える高い建物が創立当時の木造3階建の施設です。

左上の建物が有料老人ホームでした。下に増築中の静養室も見えます。



昭和39年寿老園での大運動会。
みんな足腰も丈夫で元気はつらつでした。



昔も今も楽しい盆踊り。ゆかた姿もきちっと決まっています。



平成5年ごろ個人タクシーのボランティアさんによる平和公園での花見風景。



大広間での敬老の日の食事会風景。

敬老の日は1966年(昭和41年)に国民の祝日とされました。

2003年より敬老の日は9月第3月曜日となりこれまで敬老の日だった9月15日は老人の日に名称が変わります。

社会福祉法人寿老園老人ホーム

ご案内図

●寿老園

JR 鉄道

広島駅(新幹線口)下車徒歩20分

郊外線バス

広島駅下車徒歩20分

市内電車

広島駅下車徒歩25分

市内バス

広島府中線新幹線北口バス停下車徒歩20分

広島戸坂東線新幹線北口バス停下車徒歩20分

広島バス寺分線新幹線北口バス停下車徒歩20分

寿老園
〒732-0048 広島市東区山根町38-23
☎(082)263-3841

寿老園のホームページアドレスは
<http://www7.ocn.ne.jp/~juroken>です。

※「J」の入力方法は「Shift」+「J」を押さえてください。



編集後記

世界の人口が60億人を超える現在、日本人の平均寿命は約81歳。1人の人間が世界中の人達と出会うためには、例えば1秒に1人と出会ったとしても1200年以上かかります。81歳では1/15ほども出会う事が出来ません。人と人との出会いはそれほど奇跡的なことです。

寿老園も50歳を迎えこれまで沢山の方々と出会いや別れを経験してきました。多くの出会いや別れを経験して人が成長していくように、寿老園も発展する事が出来たのだと思います。偶然の出会い、そして突然の別れ。決して楽しい事ばかりではなかったでしょう。

あるご利用者様が以前こう言われていました。「せっかく慣れたと思ったらなじみの職員さんが異動になってしまう…」サービスをご利用されるお年寄りにとって職員との出会いや別れは時に受け身のものであるかもしれません。だからこそ私たち職員は、担当が替わっても同じように満足していただけるサービスを提供出来るように、常に信頼感を得られるように努めています。これからも寿老園と沢山の方々と出会いがお互いの笑顔を生み出すものでありますように…。